

☆上記の活動と教科の平均正答率の関係(生徒質問紙)

【分析1】主体的な学びや個別最適・協働的な学びと学力の相関

* 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ

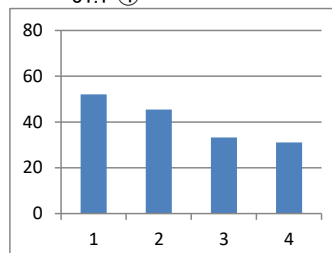
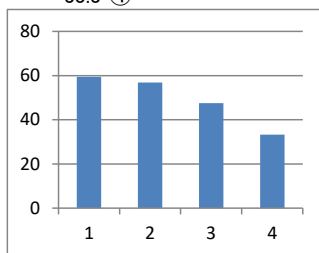
- ①当てはまる
- ②どちらかといえば、当てはまる
- ③どちらかといえば、当てはまらない
- ④当てはまらない

国語

59.4	①
56.8	②
47.5	③
33.3	④

数学

52.1	①
45.5	②
33.2	③
31.1	④



○課題の解決に向けて、主体的に取り組んだ生徒の正答率が高い。

* 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた

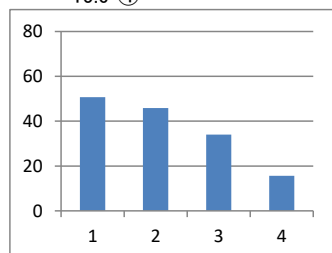
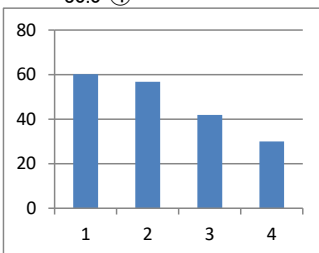
- ①当てはまる
- ②どちらかといえば、当てはまる
- ③どちらかといえば、当てはまらない
- ④当てはまらない

国語

60.2	①
56.8	②
41.9	③
30.0	④

数学

50.7	①
45.8	②
34.0	③
15.6	④



○各教科で学んだことを生かして、自分でまとめる活動を行った生徒は正答率が高い。

* 授業では、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた

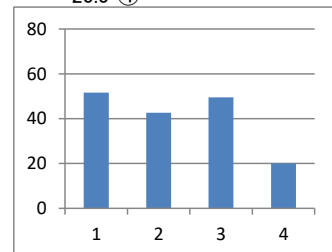
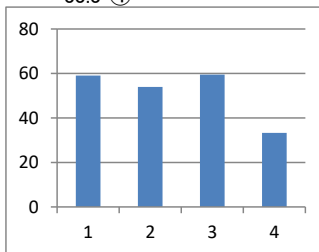
- ①当てはまる
- ②どちらかといえば、当てはまる
- ③どちらかといえば、当てはまらない
- ④当てはまらない

国語

59.1	②
53.9	③
59.5	①
33.3	④

数学

51.6	①
42.6	③
49.5	②
20.0	④



△授業では、個別最適な学びができたと感じる生徒の正答率が高い傾向が見られた。

* 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている

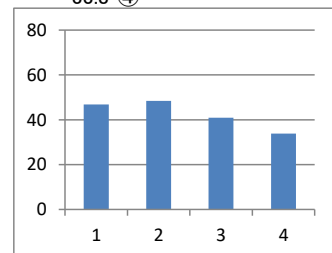
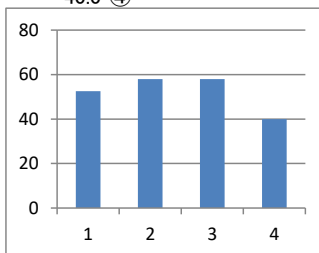
- ①当てはまる
- ②どちらかといえば、当てはまる
- ③どちらかといえば、当てはまらない
- ④当てはまらない

国語

52.5	②
57.974	③
57.979	①
40.0	④

数学

46.8	②
48.4	①
40.9	③
33.8	④



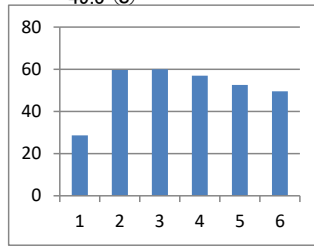
△先生が分かるまで教えてくれると思っている生徒の方が、正答率が高い傾向が見られた。

【分析2】自律的な家庭学習と学力の相関

*** 普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか**

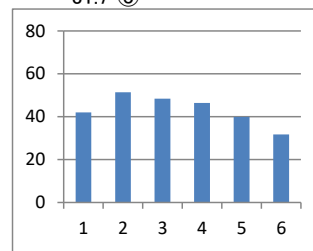
- ① 3時間以上
- ② 2時間以上、3時間より少ない
- ③ 1時間以上、2時間より少ない
- ④ 30分以上、1時間より少ない
- ⑤ 30分より少ない
- ⑥ 全くしない

国語	①	②	③	④	⑤	⑥
	28.6	59.6	60.0	56.9	52.6	49.5



数学

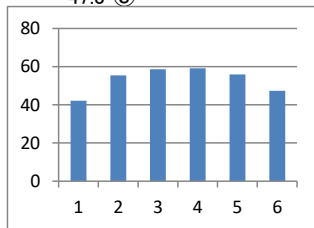
数学	①	②	③	④	⑤	⑥
	42.0	51.4	48.4	46.4	39.9	31.7



*** 土日など休みの日に、どれくらいの時間、勉強をしますか**

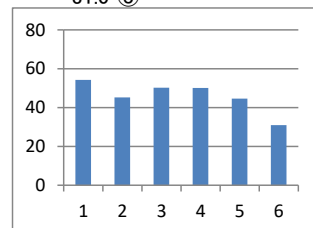
- ① 4時間以上
- ② 3時間以上、4時間より少ない
- ③ 2時間以上、3時間より少ない
- ④ 1時間以上、2時間より少ない
- ⑤ 1時間より少ない
- ⑥ 全くしない

国語	①	②	③	④	⑤	⑥
	42.2	55.4	58.6	59.1	55.9	47.3



数学

数学	①	②	③	④	⑤	⑥
	54.2	45.2	50.2	50.1	44.6	31.0

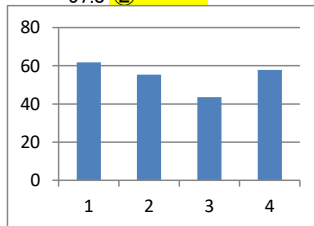


▼家庭学習の取組については、家庭学習の時間と正答率には相関関係がない、学力が付くわけではないと考えられる。

*** 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている。**

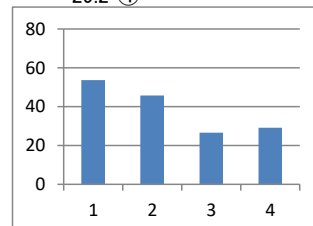
- ① できている
- ② どちらかといえば、できている
- ③ どちらかといえば、できていない
- ④ できていない

国語	①	②	③	④
	61.8	55.3	43.5	57.8



数学

数学	①	②	③	④
	53.7	45.8	26.6	29.2



△自分で学び方を考え、工夫することができる生徒は、家庭学習に取り組む意味があると考えられる。

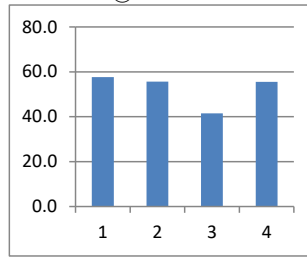
【分析3】自尊感情や学校の満足度と学力の相関

*** 自分には、よいところがあると思う**

- ①当てはまる
- ②どちらかといえば、当てはまる
- ③どちらかといえば、当てはまらない
- ④当てはまらない

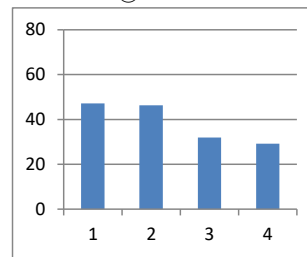
国語

57.6 ①
55.60 ②
41.5 ④
55.56 ③



数学

47.2 ①
46.3 ②
31.9 ③
29.2 ④



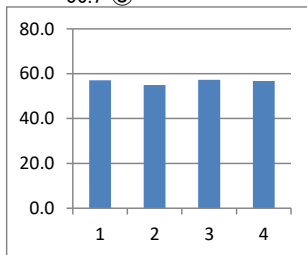
○国語も数学も、自分にはよいところがあると思っている生徒の方が、正答率が高い。

*** 先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う**

- ①当てはまる
- ②どちらかといえば、当てはまる
- ③どちらかといえば、当てはまらない
- ④当てはまらない

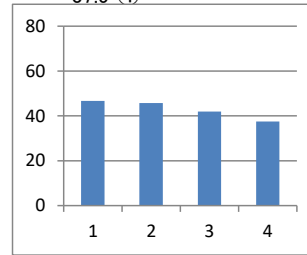
国語

57.1 ②
54.9 ④
57.3 ①
56.7 ③



数学

46.7 ①
45.7 ②
41.9 ③
37.5 ④



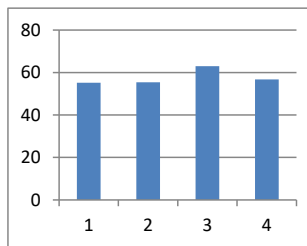
△数学は、先生に自分のよいところを認められていると思っている生徒の方が、正答率が高い傾向が見られた。

*** 学校に行くのは楽しいと思う**

- ①そう思う
- ②どちらかといえば、そう思う
- ③どちらかといえば、そう思わない
- ④そう思わない

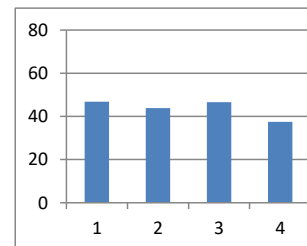
国語

55.2 ④
55.4 ③
63.0 ①
56.7 ②



数学

46.8 ①
43.9 ③
46.6 ②
37.5 ④



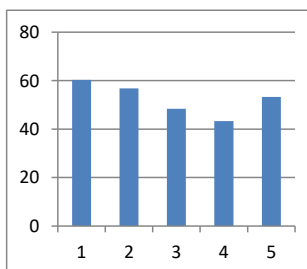
▼学校に行くのは楽しいと思っている生徒の方が、正答率が高いとは限らない。

*** 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた**

- ①発表していた
- ②どちらかといえば、発表していた
- ③どちらかといえば、発表していなかった
- ④発表していなかった
- ⑤考えを発表する機会はない

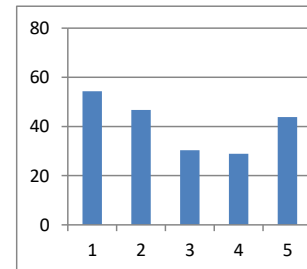
国語

60.3 ①
56.8 ②
48.4 ④
43.3 ⑤
53.3 ③



数学

54.3 ①
46.7 ②
30.4 ④
28.9 ⑤
43.8 ③



○自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表できる生徒は、正答率が高い。(重点教育目標との関連)